

事業番号 5 金沢市福祉はり、きゅう、マッサージ施術費助成券交付申請
事業番号 6 ふれあい入浴補助券交付申請

会 議 録

【申請手続き番号 5 金沢市福祉はり、きゅう、マッサージ施術費助成券交付申請】

【申請手続き番号 6 ふれあい入浴補助券交付申請】

- 1 会議名 令和2年度第2回市民行政評価委員会
- 2 日 時 令和2年10月21日（水）午後3時25分～4時
- 3 場 所 金沢市役所第二本庁舎 2203 会議室
- 4 出席者

(1) 市民行政評価委員会委員

岡田委員長、山口委員、坂下委員、古委員、青海委員
嶋谷委員、須崎委員、八田委員、山田委員、吉本委員

(2) 申請手続き担当課（申請手続き番号5）：健康政策課

甘池課長

申請手続き担当課（申請手続き番号6）：地域長寿課

小嶋課長、浦主査

(3) 事 務 局（行政経営課）

佐野課長、安藤課長補佐、二木係長、神田主査

5 審議内容

評 価 委 員： 金沢市福祉はり、きゅう、マッサージ施術費助成券交付申請について、申請があった場合にシステムに記録されるなどにより、重複申請されないような仕組みになっているか。（事前質問）

申請担当課： 助成券を交付した後、担当者がExcelにデータを入力し、重複申請がないかダブルチェックを行っている。
重複申請が判明した場合、該当者に返却を求めている。

評 価 委 員： 助成券の利用状況は、少数の方が多数利用しているのか、多数の方が広く利用しているのか。（事前質問）

申請担当課： 令和元年度実績は、助成券の過半数を使用した人が、交付した全体の約3割である。

評 価 委 員： ふれあい入浴補助券交付申請について、窓口申請と郵送申請の比率はどの程度か。（事前質問）

申請担当課： 令和元年度実績は、全体の交付冊数 30,182 冊のうち、郵送申請による交付は 730 冊であり、割合は 2.4%となっている。

また、令和2年度上半期の実績では、新型コロナウイルス感染症の感染防止策として郵送申請を推奨したこともあり、全体の交付冊数 22,379 冊のうち、郵送申請による交付は 888 冊となり、割

事業番号 5 金沢市福祉はり、きゅう、マッサージ施術費助成券交付申請
事業番号 6 ふれあい入浴補助券交付申請

合は4.0%と前年度より増加している。

[詳細は別表1参照]

- 評価委員 : オンライン化も十分理解できるが、加盟浴場が16施設しかない現状ならば、当該施設での発券も考慮して利用者の便宜を図ることも得策ではないか。(事前質問)
- 申請担当課 : 各公衆浴場でのふれあい入浴補助券の発券は以前行っていたが、(地域長寿課) 年度内で既に交付されていないか、年齢や住所が交付要件を満たしているかなどの管理や確認が難しく、重複交付やその他のトラブルにつながることもあり、浴場組合からの要望を受けて、各公衆浴場での受付を廃止し、現在の受付先に変更した経緯がある。現在、ふれあい入浴補助券は、本庁及び各福祉健康センター(3箇所)に加えて、各市民センター(14箇所)において申請の受付及び交付を行っており、市内18箇所です手続き可能となっていることから、現時点で窓口の追加は考えていない。利用者に対しては、オンラインや郵送での申請方法を周知することなどにより、利便性の向上に努めていきたい。
- 評価委員 : どちらの申請も件数が多く、窓口の混雑を防ぐという意味でもオンライン化のメリットは多いと思うが、金券に相当するものの郵送料がかかるという点がデメリットとしてある。何かもう一工夫ないと、このままオンライン化するのは難しいのではないか。
- 申請担当課 : 金券であっても普通郵便で郵送してはならないという決まりはないらしいが、はり、きゅう、マッサージ施術費助成券は1枚1,200円相当なので、18枚で2万1,600円相当となる。それを郵送する以上は、適正に送付する必要があると考えている。
- 評価委員 : ふれあい入浴補助券について、例えば申請したらはがき1枚が届いて、そのはがきを浴場へ持って行けば補助券が受け取れるというような仕組みは可能か。
- 申請担当課 : 以前各浴場で交付していた際は、申請者から複数冊数の交付を求められる等の事例があり、性善説では運用が難しい面もある。(地域長寿課)
- 評価委員 : 郵送料について、必要経費と考えることも可能だが、現在の費用にプラスされると考えると、慎重に検討する必要がある。
- 評価委員 : どちらも申請も高齢者が対象となっているが、オンライン化に対応できるのか。
- 事務局 : この申請に限らず、オンライン申請のみにするということは考えておらず、窓口での申請受付も継続する予定である。

事業番号 5 金沢市福祉はり、きゅう、マッサージ施術費助成券交付申請
事業番号 6 ふれあい入浴補助券交付申請

- 申請者の選択肢を増やし、申請しやすい方法で申請いただくよう
考えている。
- 評価委員： ふれあい入浴補助券について、郵送申請の件数が意外と少ないと
感じた。これは、申請書に身分証明書の写し等を添付して送付す
ればよいのか。
- 申請担当課： 身分証明書の写しまでは求めている。
(地域長寿課) はがき等に住所、生年月日、氏名、電話番号を記載して送付いた
だければよい。
市で重複交付を確認し、普通郵便で住民登録地に郵送すること
で、なりすましによる申請への対策を行っている。
また、郵送での申請は1週間程度かかるため、すぐに欲しい方は
窓口へ申請にいらっしゃることが多いことから、郵送申請の件数
が少ないと考えている。
- 評価委員： 郵送申請がそこまで面倒でないにもかかわらず申請件数が少な
いと、オンライン化してもあまり利用されないのではないかとい
う懸念がある。
- 評価委員： オンライン化を検討している申請手続きの中に、これらの申請以
外に、金券相当を受け取るような申請はあるのか。
- 事務局： いくつかあり、今回の2手続きのいずれかと同様な取扱いを現状
行っている。

事業番号5 金沢市福祉はり、きゅう、マッサージ施術費助成券交付申請
事業番号6 ふれあい入浴補助券交付申請

別表1

	郵送申請による 交付冊数	窓口申請 による交付冊数	合 計	郵送申請が 占める割合
H30	800 冊	28,693 冊	29,493 冊	2.7 %
R 1	730 冊	29,452 冊	30,182 冊	2.4 %
R 2 (9月末)	888 冊	21,491 冊	22,379 冊	4.0 %